

鳥取市議会予算審査特別委員会総務企画分科会会議録

会議年月日	令和5年2月28日（火曜日）		
開 会	午前11時25分	閉 会	午後4時30分
場 所	市役所本庁舎7階 第1委員会室		
出席分科員 (8名)	分科会長 砂田 典男 副分科会長 長坂 則翁 分科員 柳 大地、岡田 実、西尾 彰仁、伊藤 幾子、 平野真理子、上杉 栄一		
欠席分科員	なし		
分科員外議員	玉木 裕一		
事務局職員	局長 補佐 毛利 元 議事係長 中川 真理		
出席説明員	<p>【企画推進部】</p> <p>企画推進部長 高橋 義幸 企画推進部経営統轄監 河井登志夫 次長兼政策企画課長 戸田 昭弘 政策企画課課長補佐 平田 政志 政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 上田 貴洋 政策企画課地方創生・デジタル化推進室長補佐 上田 芳郎 秘書課長 山根康子郎 秘書課課長補佐 中川 直人 秘書課広報室長 松本 縁 文化交流課長 福山 博俊 文化交流課課長補佐 城市 索 国際交流プラザ所長 平井 圭介 情報政策課長 山根 寿彦 情報政策課課長補佐 松田 仁史 情報政策課課長補佐 田渕 聡</p> <p>【市民生活部】</p> <p>市民生活部長 鹿田 哲生 次長兼地域振興課長 漆原 利明 地域振興課課長補佐 山名 常裕 協働推進課長 北村 貴子 協働推進課参事 山根 優子 協働推進課課長補佐 宮谷 卓志 次長兼市民総合相談課長 大島 義典 市民総合相談課課長補佐 金谷 幸一 市民課長 西垣 隆司 市民課課長補佐 中島 泉</p> <p>【環境局】</p> <p>生活環境課課長補佐 古網 竜也 廃棄物対策課長 上田 光徳 廃棄物対策課課長補佐 西澤 直也</p> <p>【総合支所】</p> <p>国府町総合支所長 湯谷 一也 国府町総合支所副支所長 川口 泰弘 福部町総合支所長 平戸伊寿美 福部町総合支所副支所長 森 昌彦 河原町総合支所長 九鬼 栄一 河原町総合支所副支所長 武田 恵子</p>		

	用瀬町総合支所長 片山 学	用瀬町総合支所副支所長 岡本 秀一
	佐治町総合支所長 下田 俊介	佐治町総合支所副支所長 下石 直生
	気高町総合支所長 中原 登	気高町総合支所副支所長 久野 明男
	鹿野町総合支所長 岡本 幸子	鹿野町総合支所副支所長 小林 克己
	青谷町総合支所長 田中 隆志	青谷町総合支所副支所長 安達 典子
傍 聴 者	3人	
会議に付した事件	別紙のとおり	

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午前11時25分 開会

【企画推進部】

- ◆砂田典男分科会長 それでは、総務企画委員会を終了し、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。

議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

- ◆砂田典男分科会長 それでは、議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分について御説明を、簡潔明瞭にお願いいたします。

○上田貴洋政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 委員長。

- ◆砂田典男分科会長 上田室長。

○上田貴洋政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 はい。デジタル化推進室、上田です。資料は、資料2、予算審査特別委員会総務企画分科会、企画推進部の資料、お手元に御用意いただきたいと思います。資料2番です。企画推進部におきましては、たくさんの事業を計上しておりますので、説明させていただきます事業は、歳入は100万円以上、歳出につきましては300万円以上を基本にさせていただきたいと思います。また、事業費が大きいものであっても、経常的な事業として説明を割愛させていただくものがございますので、よろしく願いいたします。

最初に1枚めくって、2ページをお開きください。2ページになります。2ページ、右側に丸印をつけております。この丸印のものを、順番に所属別で説明させていただきます。

まず、2ページの真ん中辺りになります。歳入でございます。予算書ページは、109ページからになります。国庫支出金、国庫補助金、総務費国庫補助金、総務費補助金、デジタル田園都市国家構想交付金、地方創生推進タイプで、予算額9,002万3,000円でございます。こちら、従来、国は、デジタル田園都市国家構想推進交付金というものと、あと2つ、地方創生推進交付金、それから地方創生拠点整備交付金、この3つを創設し、運用してございましたけども、こちら再編を行いまして、デジタル田園都市国家構想交付金ということで創設されたものでございます。この地方創生推進タイプでございますが、従来の地方創生推進交付金、こちらを引き継いだ補助金のメニューとなっております。予算の内容としましては、先ほど補正でも説明さ

せていただいたように、こちら、関係各課の地方創生推進事業に充当をさせていただき補助金でございまして、企画推進部が取りまとめを行いまして、一括で予算計上をしているものでございます。補助率は、補助対象経費の2分の1となっております。以上です。

○山根寿彦情報政策課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根でございます。同じく、総務費補助金で、デジタル基盤改革支援補助金といたしまして、3,037万2,000円を計上させていただいております。これは、後に歳出でも説明させていただきますが、令和7年に予定しております住民記録や税などの基幹システムの標準化システムへの移行に向けた準備作業を、令和5年度から開始させていただきこととしておりまして、それに、その作業に伴う国からの補助金となっております。以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。その下の県支出金、県補助金、総務費県補助金、企画費補助金の中の鳥取県国内交流補助金であります。予算額は100万円となっております。これは、国内交流を行おうとする民間団体さんに対する補助金について、県の間接補助の補助金の制度があります。それを活用することに伴うものであります。以上です。

○上田貴洋政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 委員長。

◆砂田典男分科会長 上田室長。

○上田貴洋政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 はい。続いて、その下、3ページを御覧ください。同じく左側で、総務費補助金、マイナポイント事業費補助金でございます。予算額3,810万5,000円でございます。内容につきましては、マイナポイント事業に要する経費に充当する補助金でございます。詳細は、歳出で説明させていただきます。以上です。

○松本 縁秘書課広報室長 委員長。

◆砂田典男分科会長 松本室長。

○松本 縁秘書課広報室長 はい。広報室、松本です。その下、03委託金、01総務費委託金です。予算書は127ページになります。予算額554万5,000円でございます。これは、県政だよりと県議会だよりの配布業務の委託金として、県から受領しているものです。県政だより分として411万8,000円、県議会だより分として142万7,000円の合計となっております。この委託金の収入は、後ほど歳出で御説明いたします市報発刊配布費の財源に充当するものです。以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。その下になります。県支出金、交付金の中の総務費交付金の中の市町村創生交付金であります。予算額は、506万8,000円です。これは、文化芸術団体等が実施をいたします、文化芸術に関する事業に対する補助金などに充当をしているものであります。以上です。

○山根寿彦情報政策課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根でございます。資料のほう、少し飛びまして4ページのほうへお進みください。雑入でございます。雑入の中の下から4段目になりますが、東部広域電算事務負担金といたしまして、451万7,000円を計上しております。これは、文書管理や財務会計、それとか時間外や休暇などを行う庶務事務システムなどにつきまして、東部広域行政管理組合とシステムの共同利用を行っております。この収入は、そのシステムの使用や保守に係る費用の応分の負担を、東部広域から頂くものとなっております。令和5年度が、減額している要因でございますが、これは、令和4年度に実施いたしましたブラウザの提供終了に伴う対応作業というものが終わって、不要となったこと、それと、あと職員数の変動によりまして、負担額が減少したものでございます。

続きまして、同じく、雑入の2つ下でございます。その他の雑入、CATV設備使用料等といたしまして、6,836万4,000円を計上しております。これは、本市が所有いたしますケーブルテレビ施設の使用料といたしまして、主に、日本海ケーブルネットワークと鳥取テレピアの2者のケーブルテレビ局や通信事業者から使用料を頂いているものになります。令和5年度が減額しております要因でございますが、この使用料は、ケーブルテレビ管理にかかった経費の実績によりまして、3年に1回見直しをしております。その見直しによりまして変動したものでございます。以上です。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 戸田課長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 はい。続きまして、22の款市債、項市債、目総務費、細目総務管理債でございます。一番上の旧本庁舎・第二庁舎跡地整備事業債でございます。予算額は3,410万円を計上しております。これは、令和5年度に実施いたします、旧本庁舎等跡地活用に向けた実施設計、測量業務に要する経費に対しまして、起債でございます緊急防災・減災事業債を充当しようとするものでございます。起債充当率は100%、交付税措置率は70%となっております。以上でございます。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。その下です。市債の中の、総務債の中の、総務管理債であります。予算額は570万円。これは、わらべ館の修繕費に起債、公共施設等適正管理推進事業債などを充当することによるものであります。

そして、その下、同じく総務管理債として、2,090万円の予算をお願いをしております。これは、湖山西小学校隣にあります学習・交流センター、この修繕費に、同じく起債を充当することによるものであります。以上です。

○山根寿彦情報政策課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根でございます。続きまして、総務管理債の中

の有線テレビジョン放送施設整備事業債を1億2,350万円と、あと、1つ飛ばしました、過疎対策事業債に6,070万円を計上するものでございます。これは、先ほどから話が出ております、ケーブルテレビの光ファイバー化事業のうち、令和5年度の事業分の財源として計上するものでございます。以上です。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根康子郎秘書課長 はい。秘書課、山根でございます。続きまして、歳出でございますが、説明資料の5ページを御覧ください。中ほどになりますけれども、予算書は159ページ、総務費、総務管理費、一般管理費、全国市長会関係費の鳥取県市長会負担金426万3,000円でございます。これは、鳥取県市長会の令和5年度の会費426万3,000円でございます。この会費の算定につきましては、会費の50%が、4市によります均等割で算出されております。残る50%が人口割により算出されておまして、各市、それぞれの市長会への会費となっております。以上です。

○松本 縁秘書課広報室長 委員長。

◆砂田典男分科会長 松本室長。

○松本 縁秘書課広報室長 はい。広報室、松本です。その下になります。03文書広報費、01の広報紙発刊配布費です。予算書は161ページになります。予算額6,019万7,000円です。これは、市報及び支所だよりの発刊に係る費用となっております。財源は国・県支出金ですが、これは、先ほど歳入で説明いたしました県からの委託金554万5,000円ということを充てております。

続いて、その下です。02の市政広報費です。予算書は、同じく161ページです。予算額5,637万6,000円です。これは、ケーブルテレビやFM鳥取でのラジオ放送、新聞、民放テレビなど、各種メディアを通じて、効率的に市政情報を提供するための経費となっております。市長の定例記者会見ですとか、LINEの保守・運用費も含まれております。その他財源として、24万3,000円計上しておりますが、これは、鳥取駅地下道の掲示スペースを使用して、民間の事業者さんが広告を出す場合の広告収入を見込んで充てているものです。

続きまして、6ページになります。1段目です。ホームページ運用費になります。予算額430万3,000円です。予算額が、令和4年度より増額となっておりますが、これは、令和5年2月から導入しました、やさしい日本語サイトのルビ振り機能の保守料として、年額13万2,000円を計上しております。その予算額の増額分は、消耗品費が減額しておりますので、その分を引いた7万8,000円が増額となっているものです。

続きまして、1つ飛ばして、上から3段目の鳥取市知名度アップ大作戦事業費です。予算額は1,774万5,000円、その他の財源は、ふるさと納税基金繰入金となります。令和5年度も、これまでと引き続き「鳥取家族」をキャッチコピーに、本市の魅力を全国的に発信して、観光客など、本市への来訪促進、それから、移住促進などにつなげたり、市民愛着度の醸成を目的に、話題性や拡散性を考慮しながら、シティプロモーションを展開していく経費としております。令和3年度は、例えば、テーマといたしまして、新型コロナウイルス感染症拡大によって、地方で暮らすことや働くことへの関心が高まっていることから、鳥取市ワーケーションをテ

マに、シティプロモーションを展開いたしました。先ほども申しましたが、令和4年度はロバート秋山さんの「クリエイターズ・ファイル」とコラボして企画、動画を撮影し、公開しているというところで、令和5年度も、引き続きシティプロモーションを実施したいと考えているところです。以上です。

○上田貴洋政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 委員長。

◆砂田典男分科会長 上田室長。

○上田貴洋政策企画課地方創生・デジタル化推進室長 はい。続いて、その下の社会保障税番号制度運営費、マイナポイント事業費です。説明につきましては、事業別概要とさせていただきたいと思いますので、事業別概要の56ページをお開きいただきたいと思います。56ページ、上の段になります。

事業別概要、事業の概要の経過及び背景を御覧いただきたいと思います。改めてになりますが、国は、昨年12月に、ポイントの付与の対象となりますマイナンバーカードの申請期限を、12月、令和4年の12月末から、令和5年2月末まで、2か月延長されました。これに併せまして、マイナポイントの申請期限、令和5年2月末から延長する予定ということでされておりました。予算の作成時点におきましては、ポイントの新たな申込期限を、国のほうがまだ明らかにされておきませんでしたので、ひとまず、市役所本庁舎、それから、イオンモール鳥取北などでのポイント申込支援を、令和5年の9月末までの予定で継続することとしまして、必要な事業費としまして、3,810万5,000円を予算要求させていただいております。

なお、国におきましては、今月17日になりますが、マイナポイント申込期限、令和5年5月末まで延長するというので、正式に発表されましたので、予算の範囲内で、国の制度を踏まえまして、事業実施してまいりたいと考えております。

事業費の内容としましては、市役所本庁舎とイオンモール鳥取北で、業務委託により、専用窓口を運営する経費ですとか、パソコンのリース料、職員の人件費、消耗品費となっております。以上です。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 戸田課長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 はい。政策企画課、戸田です。続きまして、その下です。目07の企画費、細目01の総合企画費で、若者定住促進時事業費、これは、そのページの一番下から3行目の事業費となります。予算書は165ページ、事業別概要は56ページ下段でございます。予算要求額は、971万1,000円をお願いするもので、財源は、国の交付金と一般財源2分の1ずつでございます。この事業は、麒麟のまち婚活サポートセンターの運営経費でございます。麒麟のまち圏域在住者等を対象に、結婚を希望する男女の婚活、出会いの場の創出を支援しまして、結婚による若者定住を促進し、圏域の人口増加を図ろうとするものでございます。

事業内容は、婚活イベントやスキルアップセミナーの開催、成立したカップルのアフターフォローをはじめ、本年度は、初の試みといたしまして、会員を対象に、共通の趣味や活動を行っている人同士を集めるサークル、これを2つ程度立ち上げまして、年に数回集まっていたいただきまして、共通の話題で友好を深め、最終的に、お互いをより知り合った中でのカップル成立

を目指し、成婚へ、よりつながるような仕掛けを考えております。また、イベントで成立したカップルのフォローアップの一環として、共同作業によるものづくり体験、そういったことなどを通じまして、より距離を縮め、仲を深めていただくような、そういった仕掛けも考えておるところでございます。

なお、12月補正で債務負担行為をいただき、次年度からのサポートセンター運営事業者を公募しました。応募のあった1者をプレゼンで審査した結果、引き続き、株式会社エムアンドエムドットコーを委託事業者とすることを決めておるところでございます。

続きまして、7ページに移ります。一番上の行の事業でございます。麒麟のまち創生推進事業費です。予算書は165ページ、事業別概要は57ページの下段でございます。予算要求額389万7,000円をお願いするものです。財源は、国の交付金と一般財源です。これまでに御案内のとおり、令和5年度は、麒麟のまち圏域では、令和9年度までの第2期ビジョンのスタート年度となります。圏域を形成します1市6町では、人口減少・少子高齢化社会にあっても、圏域の持続的発展を目指し、広域連携による取組を進めてまいります。この事業費は、圏域の首長による創生戦略会議並びに構成市町の住民代表や観光・経済・交通等の関係者で組織するビジョン懇談会を開催いたしまして、各年度事業の取組状況などへの意見を頂く会議、そういった会議の開催経費に110万8,000円。また、エリアプロモーション事業といたしまして、圏域内の名所・施設・名産品等に着目をいたしまして、それにSDGsのいずれかのゴールを絡めましたイラスト・写真・川柳の3部門で、オリジナル作品を募集しまして、優秀作品に賞を贈呈するとともに、その作品は、圏域の市町で協力いたしまして、各所で巡回展を行いまして、住民の皆様にご覧いただくこととしており、圏域とSDGsのさらなる啓発につなげたいと考えております。この事業は、公募型プロポーザルでの事業者決定を考えておりまして、これに要する経費として、251万2,000円を計上しております。

また、さらに令和5年度は、全国の連携中枢都市圏で持ち回り開催されております、連携中枢都市圏連絡会議の第6回目が、鳥取市で開催されることとなっております。この開催経費に25万7,000円を計上しております。この会議には、例年全国の37ある連携中枢都市圏や、総務省などから、職員及び関係者、約50名の出席がございます。会議は、11月に2日間を予定しておりまして、総務省や開催地の取組説明、グループディスカッションや圏域内の視察など、実施する予定でございます。

続きまして、同じページで、5つ下になります。旧本庁舎跡地にぎわい創出事業費でございます。これは、予算書は165ページ、事業別概要は59ページ上段でございます。予算要求額605万円をお願いするものです。財源は、国の交付金と一般財源です。この事業は、旧本庁舎跡地、アスファルト駐車場部分で、アフターコロナを見据えた、にぎわい創出の取組を実施するとともに、中心市街地の他の施設や商店街と連携をいたしまして、回遊性を向上させることで、地域の活性化を図ろうとするものでございます。公募により、事業主体を決定いたしまして、イベントの企画・募集・開催を行わせたいと考えております。イベント回数は、10回を予定し、来場者や出店者へのアンケート調査も行い、足りないことや実施してほしいこと等々を御回答いただきまして、今後のにぎわい創出等に生かしたいと考えておるところでございます。

続きまして、その下でございます。細目東部広域行政管理組合運営費等負担金等でございます。予算書は165ページとなります。予算要求額は、6,062万8,000円をお願いするものです。これは、同組合が行います介護認定審査、可燃物・不燃物処理、消防等に係る経費を除きまして、同組合が、法人格を維持するために必要な部分となります。議会費、一般管理費、企画振興費、交際費など、運営費の負担金となります。算定方法は、県東部の1市4町の介護認定審査等の負担金総額の割合に応じて、運営費を案分する方法で出しておるものでございます。以上でございます。

○山根寿彦情報政策課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根でございます。続きまして、細目05地域情報化推進費でございます。2,847万9,000円を計上させていただいております。本事業ですけれども、事業別概要は68ページの上段になります。本事業は、市立小・中学校、それと公民館をはじめとする、市の公共施設のインターネット環境整備、接続環境や公衆無線LAN整備のための費用や通信費等の管理運営費が1点、それと、携帯電話やコミュニティFMラジオの不感地域対策のための鉄塔施設の維持管理費、そして、とっとり施設予約サービスなど、市民に御利用いただくサービスの利用料、運営費などを、地域の情報化を推進するための経費を計上させていただいております。令和5年度には、指定避難所15か所に、新たに公衆無線LAN環境を整備する費用を計上させていただいております。災害時等の情報通信手段の確保に努めてまいりたいと思っております。以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。7ページの最後のところになります。企画費の中の、鳥取世界おもちゃ館運営委託費等の中の、鳥取世界おもちゃ館施設管理費であります。予算額は、8,270万1,000円です。これは、先ほど御紹介しました、わらべ館の管理運営、具体的には、指定管理料及び修繕に要する経費、今年度、令和5年度においては、空調用の熱源機器の改修等を予定しております。これらに充てる予算となっております。続きまして、次のページ、8ページに入ります。一番上です。同じく企画費の中の、鳥取世界おもちゃ館駐車場運営委託費等の中の、鳥取世界おもちゃ館駐車場管理運営費であります。予算額は、570万1,000円です。これは、わらべ館に隣接しております駐車場、市営駐車場での扱いになっておりますが、これの管理棟、それからトイレなどの維持管理、全体の維持管理に要する経費となっております。

続きまして、その下です。同じく、企画費の中の、国際交流促進費の中の、国際交流員配置事業費であります。予算額は1,174万1,000円です。これは、文化交流課に配属をしております3名の国際交流員があります。具体的には、ドイツ語担当、それから韓国語担当、中国担当、この3名になりますが、この国際交流員の配置に要する経費、具体的には報酬、共済費等になっております。

続きまして、それから下がりまして、中段辺りになります。同じく、企画費の中の、国際交

流プラザ運営費の中の、国際交流プラザ管理運営費になります。予算額は642万4,000円です。これは、先ほど御説明しました、湖山西小学校隣の学習・交流センター鳥取内に、国際交流プラザを設置しております。このプラザ運営に要する経費、具体的には、会計年度任用職員の報酬、共済費、それから各種講座講師謝金、イベント委託費等、こういったところを内訳としております。それに要する経費となっております。

続きまして、その8ページの下から2番目のところですが、同じく、企画費の中の学習・交流センター施設管理費、学習・交流センター施設管理費であります。予算額は3,549万3,000円になります。これは、先ほど説明しました、学習・交流センター鳥取、全体管理は文化交流課のほうで所管をしております。この施設全体の管理に要する経費、具体的には、修繕、光熱水費、清掃・警備・保守点検等の委託及び修繕、令和5年度については、年次計画でやっております空調の更新に係る経費、こういったところを予算額として計上をしております。

続きまして、9ページに入ります。一番上です。企画費の中の、国内交流推進費の中の、国内都市交流総合推進費であります。予算額は、518万1,000円です。これは、5年度に予定をしております姉妹都市釧路市との姉妹都市提携60周年記念事業、具体的には、相互訪問なり、釧路市民を対象とした本市の観光施設の利用料減免、あるいは、やまびこ館での企画展、こういったことを予定をしております。こういった記念事業や各地域の県人会などへの参加に要する経費等を計上させていただいております。以上です。

○山根寿彦情報政策課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根でございます。続きまして、細目24有線テレビジョン放送施設管理費でございます。その2段目になりますが、超高速情報通信基盤整備事業費といたしまして、1億9,805万5,000円を計上しております。事業別概要は68ページの下段になっております。具体的な事業内容につきましては、説明資料の13ページのほうで御説明させていただきたいと思っておりますので、13ページのほうへお進みください。13ページの資料ですが、これは、先ほど補正でも御説明いたしました資料と一緒にしております。この令和5年度の当初予算に該当いたしますのは、本資料の赤字で囲った部分になります。これは、現在進めております光ファイバー事業の一環といたしまして、令和5年度は、令和4年度末までに、幹線伝送路と光ファイバー化の放送用センター機器が整備されました、下の図にあります、赤字のところですが、福部・用瀬・佐治・鹿野・青谷につきまして、加入者宅の設備を、順次、光ファイバーに対応した設備に更新する工事を実施するものでございます。これは、まだ後年も、複数年で実施する必要があると思っておりますが、今年度は、令和5年度分の計画工事分を計上させていただいております。以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。その下になります。同じく、企画費の中の28番です。城下町とっとりまちづくり推進事業費の中の、歴史的建造物保存活用事業費であります。予算額は1,329万5,000円になります。これは、先ほど補正の中でも御紹介をしま

した、城下町とっとり交流館高砂屋の管理運営事業に要する経費、具体的には、鳥取市文化財団の対する指定管理料になります。以上です。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 戸田課長。

○戸田昭弘次長兼政策企画課長 はい。政策企画課、戸田です。続いて、その3つ下の事業にはなりますが、細目といたしましては、45の公立大学法人運営事業費のうち、環境大学運営費交付金でございます。予算書は167ページ、事業別概要は59ページ下段でございます。予算要求額5億5,456万1,000円をお願いするものです。財源は、その他財源4,870万6,000円、これは公共施設等整備基金繰入金となります。残りは一般財源でございます。昨年度当初予算額から2,088万7,000円の増となっておりますけれども、主な要因といたしましては、電気料金の高騰によるものでございます。予算要求額の内訳ですが、運営費交付金が4億6,493万6,000円、施設整備費補助金が4,870万6,000円、授業料等減免費交付金、修学支援新制度分ですけれども、これが4,091万9,000円となっております。

続きまして、その下でございます。旧本庁舎・第二庁舎跡地活用検討事業費でございます。予算書は167ページ、事業別概要は60ページ上段でございます。予算要求額は、3,413万3,000円をお願いするものでございます。財源は、歳入の部分で申し上げました起債と一般財源でございます。ちなみに、この事業におきましては、昨年6月補正で、1,726万1,000円を議決いただきまして、新聞折り込みチラシによる広告や意見募集、基本計画作成等を実施させていただいているところでございます。令和5年度は、土地の具体的活用に向けまして、実施設計、測量業務を行いまして、令和6年度の工事施工に向かうものでございます。

続いて、10ページをおはぐりください。上から2行目になります。細目60の高等教育機関在学学生支援事業費でございます。予算書は167ページ、事業別概要は60ページ下段でございます。予算要求額は、600万円をお願いするものでございます。財源は、国の交付金と一般財源2分の1ずつです。ちなみに、この事業は、昨年の6月補正で議決いただいた事業でございます。大学生や専門学校生に対しまして、鳥取市及び麒麟のまち圏域の企業や観光地等の魅力を、各学校が校外活動や地域活動を通して学生に発信することで、仕事や自然等を一体的に満喫できる魅力的なまちであることを認識してもらいまして、若者の定住につなげようとするものでございます。事業内容は、2つの補助事業でございます。1つは、圏域内の企業等の魅力発見につながる事業への補助、もう一つが、圏域内の地域資源や観光名所等の魅力発見につながる教育活動への補助でございまして、いずれも、大学及び専門学校を補助対象に、補助率は2分の1で、上限は、大学2校は各150万円、専門学校5校は各60万円としておるところでございます。以上でございます。

○山根寿彦情報政策課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 山根課長。

○山根寿彦情報政策課長 はい。情報政策課、山根でございます。続きまして、目12の電算処理費でございます。電算処理費全体で、7億2,307万3,000円を計上しております。この費目全体は、庁内で利用いたします各種情報システムの運用管理に係る経常的な経費を計上させてい

ただいているものになります。特徴的な事業といたしましては、同じく10ページの資料の下から3段目の市内LANシステム管理費でございます。市内LANシステム管理費といたしまして、2億3,725万5,000円を計上させていただいております。市内LANシステム管理費は、市内のネットワークシステムやセキュリティー対策費、それと、職員パソコンなどの管理・運用に要する経費でございます。令和5年度は、令和4年度から取り組んでおります情報システム対策といたしまして行います、ネットワーク強化システム更新業務というものがございます、セキュリティー対策を行うためのシステムの更新をするというものでございますが、その運用が、令和5年度に開始されますので、それに係る使用料が増額されたものでございます。

続きまして、資料11ページのほうへお進みください。情報通信技術利活用促進事業費といたしまして、自治体行政スマート事業推進費で、3,871万7,000円を計上させていただいております。この事業は、次世代情報システムの利用や行政システムのオンライン化など、デジタル技術を活用して、行政事務の効率化や、多様化する市民サービスの向上につなげるための事業費を計上しているものになります。令和5年度には、これまでから行っております、RPAやAIを活用したツールの使用料に係る費用に加えまして、令和7年度末に予定いたします、自治体基幹システム標準化に向けた準備作業を開始することとしておりまして、具体的には、システムで使用する文字を、全国統一文字に合わせる同定作業に伴うものや、標準化システムの詳細仕様が判明した業務から、現行業務手順との照合作業といったものを開始することとしております。これらに伴う経費が新たに3,000万円、約3,000万円を計上させていただいております。財源といたしましては、国庫補助が全額充たることとなっております。以上です。

○福山博俊文化交流課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 福山課長。

○福山博俊文化交流課長 はい。文化交流課、福山です。ここから教育費に入ります。その11ページの下から2段目のところになります。教育費の中の、社会教育費の中の、文化振興費（文化交流課）分になります。予算額は766万7,000円です。これは、将来の文化芸術振興の担い手育成などを目的とした演奏会等の開催、あるいは、文化団体育成のための活動補助や、施設使用料減免などに要する経費となっております。

はぐっていただきまして、12ページに入ります。上から2段目のところになります。同じく、文化振興費の中の文化芸術推進事業補助金になります。予算額は、979万円になります。これは、自主的な文化芸術活動の促進による文化芸術の振興を目的としまして、文化芸術団体などが実施します各種事業に対する補助に要する経費となっております。

続きまして、その下です。同じく、文化振興費の中の、文化芸術のまちづくり推進事業費（コロナ克服・新時代開拓臨時交付金）を活用しております。予算額は、784万3,000円になります。これは、本市での文化芸術活動のコロナからの復興、そして持続発展を目的として、FMラジオやインターネットを通じた文化芸術情報の発信、あるいは、鳥取市芸術家バンク登録芸術家の小・中学校への派遣、また、地元芸術家による民間ギャラリーの活用に対する補助、そして、令和5年度においては、新規となりますが、中心市街地での若手芸術家の活動拠点の整

備に対する補助、こういったところに要する経費となっております。

続きまして、その2つ下になります。同じく文化振興費の中の、舞台芸術×地域活性化事業費であります。予算額は5,190万です。これについては、事業別概要の65ページ上段に記載をしておりますので、また後ほど見ていただければと思いますが、少し説明が長くなりますが、御容赦ください。鳥の劇場、鹿野町を拠点に幅広い活動を展開しております。そして、地域活性化に寄与しております、劇団鳥の劇場、鳥取市は、これに対する支援を行ってきております。具体的には、その中で、旧鹿野小学校及び旧鹿野幼稚園施設などを無償貸付けを行っております。しかしながら、長年の経年劣化により、施設の老朽化などが課題となっていたところです。そして、これを踏まえまして、令和5年度からは、国の地方創生関係の交付金を活用することを前提として、県や地域住民などと連携しまして、新たに、この鳥の劇場の舞台芸術を核として、人材育成、交流促進、産業振興、にぎわい創出、そういった取組を一体的に推進することとしております。

予算内容としては、実施主体である鳥の劇場に対して、ハード事業として、旧小学校舎の解体や旧幼稚園舎の改修などに対する補助、また、ソフト事業として、演劇人材を育成する演劇塾の開催、また、小学生を対象とした劇場空間体験事業、また、演劇を通じた企業人材の育成などの取組を委託するために要する経費となっております。

なお、この後の市民生活部、また文教経済委員会のほうの経済観光部、農林水産部においても、ソフト事業関連予算を計上をしております。そして、鳥取県においても、当初予算にハード整備に対する鳥の劇場に対する補助、ソフト事業の委託に要する経費を計上をしておられます。

また、この既存施設の解体や改修については、鳥の劇場への現在貸付けを行っております施設、これの譲渡を前提としております。本委員会では、この後、旧幼稚園舎を所管します市民生活部、鹿野町総合支所より報告を予定をしております。また、文教経済委員会においても、旧小学校舎を所管しております教育委員会、生涯学習・スポーツ課より、報告を予定をしております。この施設譲渡の関係については、国の交付金の交付決定が出た以降、事業の確度が高まった段階で、改めて6月議会での提案を予定をしておるところであります。長くなりましたが、以上です。

続きまして、その下です。同じく文化振興費の中の麒麟のまち鳥取市美術展開催費であります。予算額は370万6,000円です。これは、1962年から開催を、毎年開催をしております、第62回麒麟のまち鳥取市美術展、これの開催に要する経費となっております。中身としては、運営委員会に対する委託料ということになります。

そして、この12ページの最後になります。同じく、社会教育費の中の、市民会館管理費の中の、施設管理費の中の、市民会館施設管理費になります。予算額は6,361万7,000円です。これは、市民会館の指定管理の運営に要する経費となっております。中身としては、指定管理料、それから舞台設備関係の設備の更新を予定をしております、それに要する経費。また、そのほか市民会館利用者の利便性の向上を図るために、現在駐車場が少なくなっておる部分を踏まえまして、片原駐車場を利用された市民会館の利用者に対して、この駐車場利用料の減免をやっ

ております。これに、補填に関する経費、これも含まれておるところです。

以上で、令和5年度企画推進部、当初予算案の説明を終わらせていただきます。

◆砂田典男分科会長 御説明をいただきました。

本日の委員会では、この議案につきましては、説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 はい。なお、質疑は後半の3月14日に行いますので、よろしく願いいたします。

それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を終了いたします。

企画推進部の皆様、お疲れさまでした。

（ ） お疲れさまでした。

総務企画委員会に切替え 午後1時15分 休憩

予算審査特別委員会総務企画分科会に切替え 午後3時30分 再開

【市民生活部】

◆砂田典男分科会長 はい。それでは、会議を再開いたします。

ただいまより、予算審査特別委員会総務企画分科会を開催いたします。

議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち所管に属する部分（説明）

◆砂田典男分科会長 議案第1号令和5年度鳥取市一般会計予算のうち、所管に属する部分について、御説明を簡単明瞭にお願いいたします。

○大島義典次長兼市民総合相談課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 大島課長。

○大島義典次長兼市民総合相談課長 はい。市民総合相談課、大島です。それでは、令和5年度一般会計当初予算につきまして、所管部分について御説明いたします。お配りしております資料3、予算審査特別委員会総務企画分科会説明資料及び事業別概要の冊子によりまして、御説明させていただきます。資料では、各ページ右の欄外に丸印をつけております、主立った事業について御説明します。歳入につきましては、関連する歳出項目と併せて御説明させていただきます。

それでは、資料3の13ページをお開きください。一番上、18消費生活対策費です。事業別概要は78ページ下段です。消費生活センターを開設し、消費生活に関するトラブルの解決に向け、相談者への助言や関係者間のあっせんを行っておりますとともに、消費者教育推進計画に基づき、消費者教育や啓発に取り組んでいるところです。予算額は1,225万5,000円で、内訳は、消費生活相談員3名分の人件費約928万円、消費者教育・啓発のための講演会やイベント等に係る経費、約142万円、消費者被害防止のための寸劇開催やリーフレット作成、録音機能付電話機購入補助などの経費、約34万円などが主なものとなっています。

続けて、その下の22市民サービス費のコールセンター設置運営費です。事業別概要は79ページ上段になります。予算額は4,926万5,000円で、令和元年9月に開設した鳥取市コールセンターの運營業務委託料です。市民からの電話等による問合せに対し、FAQ、これは、よくある質問とその回答ですけれども、FAQや市のウェブページなどを基に、一時応答及び電話交換業務を行っています。今年度は、12月末までに5万7,080件の入電があり、コールセンターでの応答件数は、5万5,634件となっています。このうち35%は、コールセンターにより、回答を完結しております。またFAQは、登録件数が現在3,200件以上ありまして、オペレーターが対応に利用しておりますけれども、市民の方がいつでも閲覧できるように、インターネット上に公開し、公式ウェブページなどから検索することができます。FAQの閲覧件数は、本年度は12月末時点で、約21万件となっております。新規事業や入電件数が、特に増加することが想定されるような場合は、FAQや市のウェブページの見直しなどについて、担当部署と協議を行っているところですが、今後も、臨機応変に状況変化を捉えて、コールセンターの円滑な運営につなげていきたいと考えています。以上です。

○西垣隆司市民課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 西垣課長。

○西垣隆司市民課長 はい。市民課、西垣です。続きまして、その下、総合窓口管理事務費でございます。予算額は8,798万4,000円、財源内訳は全額一般財源でございます。事業の内容につきましましては、事業別概要79ページ下段の総合窓口管理事務費を御覧ください。事業の概要ですが、各種証明書発行業務などの市民総合窓口業務、及び、総合案内業務の業務委託に関する経費と、市民総合窓口・福祉総合窓口・税総合窓口の3つの総合窓口において、受付・呼出し情報などを管理しています、受付番号発券システムの運用管理に関する経費となっております。なお、現在、市民総合窓口業務、総合案内業務につきましましては、民間委託を行っているところでございます。以上でございます。

○漆原利明次長兼地域振興課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 漆原課長。

○漆原利明次長兼地域振興課長 地域振興課、漆原でございます。その下、4段目です。事業別概要は70ページの上段、人材誘致・定住促進対策事業費です。本事業は、鳥取市定住促進・Uターン相談支援窓口を通じた移住相談支援や、東京・大阪で行われる移住相談会への出店、地域団体への空き家運營業務委託、移住定住専用ポータルサイト、とっとりコネクトを活用した情報発信等により、移住定住の促進を図るものです。令和5年度は、約600万円の増額となっております。主な増額理由といたしましては、移住支援金の増額を行うものです。現在、国は、デジタル化で地方創生を促す、デジタル田園都市国家構想の一環として、地方移住を促す支援金を拡充する方針を示しており、本市においても、既存の移住支援金制度に、子供加算の項目を追加した、鳥取市ふるさと移住支援金に取り組んでまいります。現在、国の移住支援事業の動向が、いまだ不明確です。ただし、制度内容について、今後鳥取県とも早急に検討を始めていく必要があり、当初予算の段階で対応を行ったものでございます。事業費は5,394万7,000円で、財源の国・県支出金のうち、国の地方創生推進交付金が72万5,000円、県支出金として

1,475万円を予定しております。その他財源の諸収入は、お試し定住体験施設体験料でございます。

はぐっていただきまして、14ページの一番上、事業別概要が71ページの下段、中山間地域・買い物支援事業費でございます。この事業は、中山間地域における移動販売車による買い物支援や見守りを組み合わせた、買い物福祉サービス事業の取組を支援することにより、買物が困難な地域における買物環境の改善を図るとともに、中山間地域で、安心して暮らすことのできる環境づくりを目的としております。現在、本市においては、4事業者に対する支援を行っております。令和5年度も、継続して実施する予定でございます。支援事業の内容といたしましては、燃料費、移動販売の運営に対する支援で1事業者、地域のお年寄りの見守りを組み合わせた買い物福祉サービスに対する支援で3事業者となっております。事業費は777万9,000円で、財源の国・県支出金は、鳥取県中山間地域買い物支援事業費補助金で386万7,000円、過疎対策事業債で160万円を予定しております。一般財源は229万2,000円となります。

その下でございます。上から5段目でございます。事業別概要が73ページの下段、小さな拠点整備事業費でございます。この事業は、本市の中山間地域において、地域住民が主体となって、生活する人々が安心して暮らせるような生活サービスや、支え合いの仕組みづくりに取り組めるよう、小さな拠点の立ち上げや地域運営組織の機能の拡充、将来的に活動を担っていく人材の育成を支援することにより、持続可能な地域の形成を図ることを目的といたしております。本市におきましては、これまでに、佐治町及び気高町逢坂地区の小さな拠点における担い手育成に対して支援を実施してきました。令和5年度は、本年度に続き、気高町逢坂地区の担い手育成に対する支援事業を実施する予定です。事業費は300万円で、財源内訳として、国・県支出金の150万円は、鳥取県版小さな拠点づくり推進支援事業補助金を予定しております。一般財源は150万円となります。以上でございます。

○北村貴子協働推進課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 はい。協働推進課、北村でございます。次のページ、15ページ、上から3項目目、地域振興費の2つ目の鳥取市自治連合会補助金でございます。事業別概要書は75ページ下段となっております。説明に入ります前に、この事業別概要書の資料の訂正をさせていただきたいと思っております。申し訳ございません。75ページ下段でございます。この鳥取市自治連合会補助金の下のほうの事業実績でございます。令和4年度、活動補助金の世帯数でございます。これが、5万2,500世帯となっておりますが、こちらを5万1,500世帯というふうに訂正していただけないでしょうか。はい。お手数かけて、申し訳ございません。

それでは、説明をいたします。これは、鳥取市自治連合会に対する補助金7,008万6,000円を計上しております。この補助金は、鳥取市自治連合会や連合会を構成する町内会が、コミュニティー活動や、住みよいまちづくりのために、市と協働して行う活動に対して交付しているものでございます。助成することにより、自治会や町内会相互の連携や、住民福祉の増進を図り、本市の振興・発展に寄与することを目的としております。事業別概要書の事業の内容にも記載しておりますけれども、補助事業の内容は2項目ありまして、自治会や町内会に対する活

動助成と、連合会事務局の運営費補助となっております。令和5年度は、前年度と比較しまして、40万9,000円の減となっております。大きな要因としましては、活動補助金の対象となる町内会数の減と、世帯数約500の減を見込んでいるためでございます。財源につきましては、県支出金の県政だより配布費と、県、県政だより配布費が175万4,000円、県議会だより配布費が53万円、その他財源といたしましては、ふるさと納税基金繰入金での1,283万6,000円でございます。以上です。

続きまして、下の段でございます。すぐ下の、(自治会活動活性化支援事業費)1,313万8,000円について御説明いたします。これは、地域コミュニティ活動支援事業交付金で、いわゆる町内会活動に対する3万円が上限となっている補助金でございます。町内会の清掃ですとか祭りなど地域活動や、集会所等の町内会設備の整備などを支援することによって、地域コミュニティの充実・強化を図るものでございます。町内会が、多数の住民が参加する事業や、所有するその施設、設備の軽微な修繕についての補助割合は、4分の3となっておりますし、町内会に未加入の方に対する加入促進の取組につきましては、補助割合10分の10でございます。令和元年度の交付件数は501町内会、交付額が1,459万7,000円でしたが、令和2年度～4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、活用された町内会数は、令和元年度の約30%程度となりました。令和5年度は、町内会の活動が活発になることを期待しているところでございます。財源は、ふるさと納税基金繰入金500万円でございます。以上です。

すみません。続きまして、めくっていただきまして、16ページでございます。市民運動推進費の鳥取市市民運動推進協議会補助金387万4,000円について御説明いたします。これは、鳥取市市民運動推進協議会に対し補助を交付し、市内の一斉清掃ですとか、地域環境美化活動などの市民活動の推進を図るものでございます。鳥取市自治連合会が事務局となっております。令和4年度と比較し、118万1,000円の増となっております。これは、一斉清掃の際に、実施する町内会に配付している、ごみ袋と土のう袋の単価が高くなっており、補助額を増やす見込みとしております。1枚の単価を今年度と比較してみますと、ごみ袋で約1.7倍、土のう袋は約1.45倍となっております。財源は、県支出金の市町村創生交付金65万6,000円でございます。

続きまして、その下の、ボランティアセンター委託費でございます。1,690万5,000円について御説明いたします。本市の市民活動の拠点となる施設でありますアクティブと通りの管理運営を、本市社会福祉協議会に委託しております。アクティブと通りでは、ボランティア団体・NPO法人等への活動場所の提供はもとより、市民活動団体等への各種講座の開催ですとか、ボランティアのマッチングなどを行っております。登録団体は、現在142団体で、ボランティア登録者数は98名となっております。令和、今年度と比較いたしまして、17万8,000円の増となっております。これは、主に社会福祉協議会の職員さんの人件費の増と、事務費の増となるものでございます。ボランティアを受け入れる施設等とのマッチング件数が、昨年度と比べ本年度は、12月末現在で100件となっております。昨年度は、年間を通じて68件でございました。少しずつ受け入れてくださる施設が増えていることと、職員のきめ細かな取組により、マッチング件数が増えてきており、来年度におきましても、ボランティア登録者数が増加し、活動が活発になることを期待しているところでございます。財源は、全額ふるさと納税基金繰

入金となっております。以上でございます。

○西垣隆司市民課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 西垣課長。

○西垣隆司市民課長 はい、続きまして、同じページの中段、戸籍住民基本台帳費でございます。

戸籍事務費、住民基本台帳事務費でございますが、令和5年度当初予算への計上は見送っておりますが、平仮名、または片仮名による個人氏名の表記を、戸籍の記載事項とすることを含めた戸籍法の見直しを踏まえ、住民票等に氏名の読み仮名を記載し、マイナンバーカードに、氏名をローマ字表示できるようにするためのシステム改修が必要でありまして、概要が定まり次第、補正予算にて、必要経費の計上をさせていただきたいと考えているところでございます。

続きまして、17ページ、中段を御覧ください。事業名は、個人番号カード関連事務費でございます。予算額は1億2,219万円、財源内訳は、全額、社会保障・税番号制度システム整備補助金でございます。事業の内容につきましては、事業別概要80ページ下段の個人番号カード関連事務費を御覧ください。事業の概要ですが、現在市民課では、マイナンバーカードの取得促進に取り組んでおり、本事業は、マイナンバーカードの交付や更新などの事務に関する経費となっております。なお、令和5年度当初予算は、前年度当初予算と比べ、大きな増額となっております。これは、カードを円滑に行うため、半年間ですが、各総合支所に会計年度任用職員を1名ずつ配置する経費、現在、大型商業施設にて、申請窓口を開設していますが、令和5年度以降も継続して申請窓口を開設する経費などを予算計上させていただいているため、来年度も、引き続き多くの市民の方にマイナンバーカードをお持ちいただけるような取組を進めてまいります。以上でございます。

○上田光徳廃棄物対策課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 上田課長。

○上田光徳廃棄物対策課長 廃棄物対策課、上田です。続きまして、18ページの中ほどを御覧いただきたいと思っております。産業廃棄物対策費の中の産業廃棄物適正処理推進事業費でございます。予算額1,192万9,000円でございます。これは、平成30年4月に、本市が中核市移行に伴いまして、現在、本市で行っている事務に対する、事務でございます。産業廃棄物処理施設等への立入検査及び水質検査等を行う経費として計上しているものでございます。これにつきましては、本市及び1市4町を対象としているものでございます。

続きまして、その下でございます。廃棄物不法投棄対策強化事業費でございます。廃棄物の不法投棄の対策を強化するというところで、これも1市4町を含めて、それぞれパトロール等を行っておりますが、廃棄物適正処理推進指導員、これは会計年度職員として、警察OB1名を配置しております。これに対する人件費等ということで、492万円を計上しているところでございます。

続きまして、その下でございます。不法投棄、不法投棄の、不法投棄産業廃棄物代執行対策事業費でございます。500万を計上しております。

併せて、その1つ飛ばしていただきまして、PCB廃棄物処理対策推進事業費、これも併せて500万ということで、計上しております。これは、不法投棄等に伴って、市民生活に重大な

影響が及ぼすおそれがあるといった場合に、本市が代執行として、不法投棄の撤去、並びにPCBの撤去等を行う場合の代執行の費用として計上しているものでございます。このことにつきましては、財源としましては、この代執行を行った場合につきましては、その弁済金を財源として充てることとしております。以上です。

○古網竜也生活環境課課長補佐 委員長。

◆砂田典男分科会長 古網補佐。

○古網竜也生活環境課課長補佐 生活環境課、古網です。説明資料の19ページの3つ目を御覧ください。公害対策費、公害防止対策費、水質・土壌対策費3,302万5,000円でございます。事業別概要は83ページの上段です。河川・湖沼及び地下水の水質汚濁防止により、市民の健康を保護するとともに、生活環境の保全を図るため、本市域及び県より事務委託を受けました東部4町につきまして、水質汚濁防止法、土壌汚染対策法等に基づきまして、公共用水域及び地下水の採水・水質測定による水質常時監視、事業場への立入検査、水質事故発生時の対応、原因調査、また土壌汚染対策法による届出の審査等を行います。予算の内容としましては、水質常時監視の委託料及び手数料が伴っております。その他財源の諸収入は、中核市関連事務県負担金となっております。

続きまして、その2つ下、大気汚染物質調査事業費1,813万2,000円です。事業別概要は84ページ上段になります。平成30年4月の中核市移行により、移譲された施策としまして、大気汚染防止法に基づき、西町と栄町にあります大気測定局に設置された自動測定機によりまして、大気中の二酸化硫黄等の大気汚染物質の常時監視を行っております。令和5年度は、栄町測定局に設置の浮遊粒子状物質測定装置が、設置より相当年数が設置しているため、機器の更新、これが216万3,000円かかりますが、それ等がありまして、前年比288万円の増額になっております。

続きまして、その3つ下、湖山池浄化対策費346万2,000円となります。事業別概要は84ページの下段となります。湖山池の改善、環境改善や普及啓発に向けては、先ほど申しましたとおり、市と県で、湖山池会議を設置し、平成24年1月の湖山池将来ビジョンの策定以降、管理計画、水質管理計画を策定し、進捗管理することで取り組んでいるところでございます。県等の協定に基づきまして、市対県が1対2の割合によりまして、湖山池の環境モニタリング会議の開催、動植物プランクトンの調査、鳥類調査、水生植物調査等を行いまして、この委託料が230万8,000円となっております。また、みんなで守る湖沼の自然環境保全推進事業補助金等により、アダプト・プログラム等による環境保全活動の支援行っております。以上です。

○上田光徳廃棄物対策課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 上田課長。

○上田光徳廃棄物対策課長 はい。廃棄物対策課、上田です。続きまして、20ページを御覧いただきたいと思っております。中ほどでございます。ごみの減量化及び再資源化対策費でございます。このごみの減量化及び再資源化対策費、予算としまして、1,260万円を計上させていただいております。これは、地域やPTA等が行う資源回収等に関する奨励金というものでございます。近年、この団体の活動のほうも、少し減少傾向にはございますが、それぞれPR等も行いなが

ら、実施していただきました団体に対して、その収集をした量に応じて、奨励金を、奨励金として支給するものでございます。

次に、その下でございます。家庭ごみ有料化事業でございます。これにつきましては、家庭ごみの有料指定袋の作製に係る経費及び分別ガイド、ガイドブックの作成に係る経費、さらには、ポスター等ごみの減量化に関する啓発に関する経費として計上しているものでございます。1億2,651万4,000円でございます。先ほど申し上げました、ごみの減量化及び再資源化対策費、さらには家庭ごみ有料化事業、こちらの財源につきましては、家庭系ごみ処理手数料ということで、少し戻っていただきますが、歳入の4ページを御覧いただきたいと思っております。歳入の4ページ、清掃手数料の下から3つ目でございますが、一般廃棄物処理手数料の中の家庭系ごみ処理手数料でございます。これは、いわゆる有料指定袋の販売をした販売の収入でございます。3億4,936万2,000円を予定しております。こちらのほうを財源として、先ほど申し上げました再資源化に関する奨励金でありますとか、ごみ袋の製作費等を支出しているものでございます。

戻っていただきまして、再度20ページを御覧いただきたいと思っております。20ページの下から2つ目でございます。ごみ収集委託費でございます。この中のふれあい収集事業費でございます。障害がある方や介護を要する方ということで、御自身でごみ出しが、ステーションまでごみ出しができない家庭、そうした家庭につきましては、御自宅前まで、ごみの収集を戸別回収をするということで、実施をしているものでございます。費用としまして、351万6,000円を計上しております。令和4年度から、冬季12月～2月の間ということで、この4年度から、期間限定で、車椅子の方、通常では対象とならなかった車椅子の方のふれあい収集を実施するというところで広報をさせていただきましたが、今年度につきましては、1件も申込みがなかったということで、この場を借りて報告をさせていただきたいと思っております。来年度に向けては、また同じように実施をしていきたいと思っておりますので、広報に努めていきたいという具合に考えております。

その下でございます。ごみ収集委託費でございます。令和5年度から、ペットボトルの回収回数を、現行は1か月に2回の収集でございますが、このペットボトルの回収を毎週の回収にということで、倍増することとしております。さらに変更としましては、食品トレイ、白色の食品トレイでございますが、こちらのほうは、これまで分別回収を1週間に1回行っておりましたけど、これまでの分別を回収してのリサイクルと同様のリサイクルが、プラスチックごみの中に一緒に併せて、プラスチックごみとして出していただいても可能という状況でございますので、食品トレイの回収は、分別は廃止をして、プラスチックとして回収をするということで、そうしたことも含めまして、収集委託料のほうを10億3,368万7,000円計上しております。このごみの収集委託料につきましても、先ほど歳入として申し上げましたが、家庭系ごみ処理手数料及び大型ごみの処理手数料のほうを一部財源としております。

続きまして、21ページの中ほどでございます。東部広域行政管理組合負担金でございます。このうちの下側、下ですけども、可燃物処理施設管理運営東部広域負担金でございます。令和5年4月より、リンピアいなばが本稼働をするということに伴って、令和5年度から負担金が

発生してくるものでございます。実際、このリンピアいなばでございますが、今現在、1月1日よりごみの受入れを、全量受入れを開始をして、試運転を行っているという状況でございます。今のところ順調に受入れができ、そして焼却ができているということで、予定どおり、4月1日の本稼働に向かえるということで伺っているところでございます。

続きまして、はぐっていただきまして、22ページでございます。22ページの一番上でございますが、同じく東部広域行政管理組合の負担金のうち、し尿の処理に関する部分でございます。これは、鳥取地域から収集をしまして、し尿は、直接、因幡浄苑管理組合に搬入をしますし、また用瀬・河原・気高・福部、それぞれの地域のほうから集めた、し尿につきましては、一旦中継槽というところに入れるわけでございますが、そこから因幡浄苑にまた搬送をし、そこで処理を行うということで、一番上段に上げております1億8,058万6,000円の支出につきましては、この因幡浄苑の維持管理に必要とする負担金でございます。

そして、その下でございますが、中継槽管理費、先ほど申しあげました鳥取地域と国府地域以外の用瀬・河原・気高・福部、こちらのほうにつきましては、中継槽で一旦集めました、し尿は、中継槽の中で貯留しまして、そこから、また別の業者で、ある程度たまってから、因幡浄苑に運ぶということで、そちらの中継槽までの搬送費でありますとか、中継槽の維持管理費というものを計上しております。1,003万6,000円でございます。

そして、一番下、その下でございますが、施設の施設維持管理費でございます。これは、本市が所有をしておりました、処理をしております清掃工場、神谷清掃工場のほか、福部のレインポーふくべでありますとか、気高のながおクリーンステーション、国府の国府町クリーンセンター、佐治・用瀬の施設と、それぞれ、全て5つあるわけでございますが、こちらの閉鎖はしましたけど、5つの施設の維持管理に伴う経費でございます。それに併せまして、今度、この施設を順次解体をしていくということで、今後、また計画を立てていくわけですが、一番建設から年数がたっております佐治・用瀬の焼却施設、こちらのほうを、解体に向けて準備を進めていきたいということで考えております。令和5年度につきましては、この佐治・用瀬の焼却場でございますが、コンサルのほうに委託をしまして、施設のほうの調査でありますとか、今後の解体に向けての準備というものを進めていきたいということで考えているところでございます。この解体に向けてのコンサルの委託費は、この1,265万3,000円のうち、990万円ほどを予定をしているところでございます。以上です。

○北村貴子協働推進課長 委員長。

◆砂田典男分科会長 北村課長。

○北村貴子協働推進課長 はい。協働推進課、北村でございます。次のページ、23ページ、下から2項目め、地区公民館施設管理費について御説明いたします。予算額1億2,376万5,000円を計上しております。前年比640万7,000円の増額となっております。この予算は、本市の地区公民館61館の施設の維持管理を行うためのもので、具体的には、地区公民館の小規模修繕、OA機器の借り上げ料、光熱水費、あとは消防用設備点検の委託等でございます。増額の主な要因としましては、光熱水費だけで1,127万3,000円の増額となっております。主に、電気料金高騰のため、上昇率を勘案して増額となっております。その他財源、財源としましては、そ

の他財源 2,144 万 1,000 円の内訳でございます。公共施設等整備基金繰入金が 1,060 万円、複合施設であります谷地区公民館、城北地区公民館の事業者負担金などが 967 万 8,000 円、残りは、地区公民館施設内での行政財産使用料ですとか、自動販売機の電気使用料の収入を充てているところでございます。以上です。

○湯谷一也国府町総合支所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 湯谷支所長。

○湯谷一也国府町総合支所長 はい。国府町総合支所の湯谷でございます。続きまして、24 ページからが総合支所分となりますけれども、歳出での説明ということで、大きくめぐっていただきまして、31 ページを御覧いただきたいと思っております。一番上の行です。目財産管理費、細目庁舎管理費、国府町総合支所管理費でございます。総合支所の管理に要します経費の主なものとしたしまして、電気代、水道代などの光熱水費、さらに消耗品費、修繕料などの需用費が 577 万 4,000 円、また、エレベーターや電気工作物などの各種保守点検業務の委託として 166 万 8,000 円、さらに、その他の経費を加えまして、813 万 9,000 円を計上しております。その他財源としたしまして、庁舎使用料等 29 万 4,000 円を充当してございます。なお、庁舎管理費につきましては、予算計上額の多寡はありますものの、各総合支所とも、ほぼ同等の内容でございますので、個別の説明を省略させていただきたいと思っております。以上でございます。

○下田俊介佐治町総合支所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 下田支所長。

○下田俊介佐治町総合支所長 はい。佐治町総合支所、下田でございます。資料は、進んでいただいて、33 ページをお願いいたします。上から 4 番目です。企画費、37 新市域特別振興費でございます。その中の、地域おこし協力隊事業費（佐治町地域振興課）分でございます。予算額は 330 万 2,000 円です。事業別概要は 256 ページを併せて御覧ください。人口減少・少子高齢化等々により、様々な地域課題を抱えている佐治町地域におきましては、外部の有能な人材を地域おこし協力隊として配置することにより、地域の人の気づかない魅力を吸い上げ、活性化を図るとともに、関係人口に関係する取組を行い、それにより、活性化を図ろうとするものでございます。内容としましては、関係人口のデータ化ですとか、組織化、また関係人口を活用したコミュニティ活動やイベントの企画・立案・実施、さらには、地域の魅力を、関係人口をはじめとし、広く SNS 等を利用した発信をしていただくなどを考えておるところでございます。実務としましては、このような事業を、NPO 法人のさじ未来に委託して行おうと思っております。市の予算としましては、委託料といたしまして、人材の発掘・雇用・事業実施につきましては、さじ未来が行うようにしたいと思っております。実施期間は、令和 5 年度におきましては、上半期に事業内容を確定させるとともに、協力隊の募集・人選・採用を、さじ式拾壺が行いまして、おおむね 10 月頃、年度後半から、地域おこし協力隊としての活動を始めていただくように考えているところでございます。以上です。

○中原 登気高町総合支所長 はい、委員長。

◆砂田典男分科会長 中原支所長。

○中原 登気高町総合支所長 はい。気高町総合支所、中原です。3 つ下がっていただきまして、

同じく、地域おこし協力隊事業費でございます。これにつきましては、事業別概要調書 257 ページ下段でございます。予算額としましては、367 万 8,000 円、財源は、一般財源でございます。これは、協力隊の1名配置する経費ということでございます。詳しくは 257 ページの下段を御覧いただきたいと思っております。こちらのほうで、事業の経過及び背景というところを御覧いただきたいと思っておりますけど、人口減少・少子高齢化、空き家・空き店舗の増加というような地域課題を気高地域ではありまして、それに対する活動をしていただく協力隊1名ということで、予算計上しております。今年の1月から1名の方に配置を、活動をしていただいているところでございます。あと、事業の内容でございますが、各地域、地域の各種団体と連携をしていただきまして、3つ丸を書いておりますけど、住民がつながるまち、空き家の活用と美しい町並みのまち・気軽に商いができるまち、みんなが気軽に温泉に入れるまちというような3つのテーマについて、活動をしていただくと。具体的には、PR、情報発信ですとか、地域のほうに出かけていっていただきまして、それぞれの地域の活性化につなげていきたいというふうに思っております。経費としましては、隊員の報酬ですとか、家賃の予算を計上しているところでございます。以上です。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 はい。鹿野町総合支所、岡本でございます。先ほどの説明の3段下、同じく地域おこし協力隊事業費で、地域おこし協力隊の配置に要する経費 330 万 2,000 円でございます。予算書は 167 ページ、事業別概要が 258 ページの下段でございます。鹿野地域では、かねてから空き家・空き地対策に取り組んでいますが、移住の希望がありましても、ありまして、空き家も増えているにもかかわらず、仏壇が残っていたり、墓参りに帰ってらっしゃるなどというような様々な事情から、空き家を提供していただくことがなかなか難しく、ニーズに答え切れていない状況がございます。また、高齢化が進む河内地区では、耕作放棄地対策として、大学生などの協力を得ながら、果樹を栽培し、商品化に取り組んでいますが、まだ十分とは言えない状況にはございます。空き家問題の解決や商品開発、販売ネットワーク構築に取り組んでいただく地域おこし協力隊を配置したいと考えており、本事業は、いんしゅう鹿野まちづくり協議会に委託して行いたいと考えております。以上でございます。

○九鬼栄一河原町総合支所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 九鬼支所長。

○九鬼栄一河原町総合支所長 はい。河原町総合支所、九鬼でございます。同じ資料の 34 ページ、下から 2 番目です。河原城イベント企画事業費でございます。予算書は 239 ページ、事業別概要書は 253 ページ下段でございます。商工費、観光費、観光活動費、河原城イベント企画事業費として、河原城を活用した地域活性化事業に要する経費 143 万 2,000 円を、予算計上させていただいております。河原町の歴史や文化を紹介する観光スポットとして、また、鳥取市のランドマークとして、県内外の人に親しまれている河原城で、地域の活性化と集客を目的として、春と秋に行うイベントについて、河原城の指定管理者である風土資産研究会に委託し、開催するものです。春は、ゴールデンウィーク期間中に、春の大茶会と題しまして、表千家、裏千家

のお茶席が設けられ、来場者に抹茶とお菓子が振る舞われます。秋には、中秋の名月の時期に、月見会として、ステージイベントや餅つきなどが行われ、ぜんざいやだんご汁などを食べながら、秋の夜長をゆっくりと楽しむことができます。どちらも、河原城のオープン以来、続いている地域に根づいたイベントですが、近年は新型コロナウイルス感染症への感染防止のため、やむなく中止といたしました。令和5年度は、3年ぶりの開催というふうになりますけれども、コロナも収まりまして、通常どおり開催できることを期待して準備を進めてまいりたいというふうを考えております。以上です。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 はい。鹿野町総合支所、岡本でございます。35ページ、中ほどになります。商工費、観光費、観光キャンペーン事業費のわったいな祭事業費193万9,000円でございます。予算書は239ページ、事業別概要は259ページの上段でございます。かねてから行っているイベント事業でございまして、週末だけのまちの店などを行っている事業ですが、文化交流課を中心に取り組む国の地方創生交付金を活用した、鳥の劇場の舞台芸術を核とした、地域活性化事業の1つとして、鳥の劇場と連携して、新たな取組を進めることにしており、国庫支出金であります、96万9,000円、これは、地方創生交付金を充当して行うことにしております。続けまして、36ページ、御覧ください。36ページ、上から2段目、土木費、都市計画費、公園管理費、公園管理費の鹿野城跡公園管理費411万6,000円でございます。予算書は255ページ、事業別概要は260ページの上段でございます。市の指定史跡であり、近年、花見客をはじめ、観光客が大きく増加している鹿野城跡公園ですが、桜の管理や公衆トイレの清掃等の通常管理に併せ、このたび、市民や観光客の安全を図るため、木柵に防腐剤を塗り、延命化を図ることにしており、増額、このたび増額して、予算要求をさせていただいております。以上でございます。

○湯谷一也国府町総合支所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 湯谷支所長。

○湯谷一也国府町総合支所長 はい。国府町総合支所の湯谷でございます。めくっていただいて、37ページ上から3行目を御覧いただきたいと思います。文化振興費、万葉フェスティバル開催事業費でございます。予算書は277ページ、事業別概要書は251ページの上段となります。これは、令和5年度で29回を数えます、大伴家持大賞短歌募集等に要する委託経費といたしまして、360万円を計上するものでございます。特定財源として、市町村創生交付金66万円を充当してございます。国府地域では、大伴家持が、万葉集最後を飾る歌を詠んだ地であるということから、万葉のふるさとをテーマにしたまちづくりを進めておりまして、因幡万葉歴史館の開館を契機としてスタートいたしましたこの事業には、毎年、全国各地から4,000首を超える作品が寄せられております。令和6年に、30回の節目を迎えますことから、令和5年度には、記念事業に関する検討委員会を発足させることとしておりまして、この記念事業を通じまして、県内外に向けて、より一層の情報発信に努めてまいりたいと考えておるところでございます。以上でございます。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 岡本支所長。

○岡本幸子鹿野町総合支所長 はい。鹿野町総合支所、岡本でございます。資料37ページ、下から2段目、教育費、社会教育費、文化振興費、市民音楽祭開催費、町民音楽祭開催費の320万円でございます。予算書は277ページ、事業別概要は259ページ下段でございます。本事業に関しましては、先ほど御説明いたしました、わったいな祭と同じく、文化交流課を中心に取り組む、国の地方創生交付金を活用とした、活用した鳥の劇場の舞台芸術を核とした、地域活性化事業の1つとして、鳥の劇場と連携して、新たな取組を進めることにしています。以上でございます。

○片山 学用瀬町総合支所長 委員長。

◆砂田典男分科会長 片山支所長。

○片山 学用瀬町総合支所長 はい。用瀬総合支所の片山でございます。説明資料、裏をはぐっていただいて、38ページの3行目、流しびなマラニック大会補助金でございます。右側の欄外に丸をつけておりませんが、追加で御説明いたします。この大会は、用瀬町の5月の新緑の中、ランニングとウォークの種目を行おうとするもので、昨年は200人の募集定員とさせていただいておりましたが、感染対策を講じながら、来年度800人と定員として、その開催に対しての支援に要する経費を計上しております。なお、開催に当たりまして、住民の方が主体となった実行委員会に補助することにしており、参加者の方の健康の増進はもとより、来場者の方が、楽しく走ったり、歩いたりできるような、住民の方の協力を得て、町での自主的な飾りつけなど、地域の活性化にも取り組もうとするものでございます。以上です。

○平戸伊寿美福部町総合支所長 はい、委員長。

◆砂田典男分科会長 平戸支所長。

○平戸伊寿美福部町総合支所長 福部町総合支所、平戸でございます。先ほどのマラニックの1つ下でございます。鳥取砂丘らっきょう花マラソン開催費でございます。事業別概要書は、252ページの上段となっております。当初予算要求額321万6,000円で、その他財源としまして、12万5,000円は、ふるさと納税基金繰入金が充当されております。これは、鳥取砂丘らっきょう花マラソン大会を運営するための市補助金でありまして、その実行委員会へ交付されるものでございます。この大会は、令和5年度で第37回目を迎えます。これまで、新型コロナウイルスの影響によりまして、令和2年度～4年度の3年連続で中止となっておりますが、令和5年度は、例年どおり、らっきょうの花の咲く10月の最終日曜日に開催する予定としていただいております。以上です。

○田中隆志青谷町総合支所長 はい、委員長。

◆砂田典男分科会長 田中支所長。

○田中隆志青谷町総合支所長 はい。青谷町総合支所の田中でございます。令和5年度、当初予算債務負担行為の概要について説明をさせていただきます。資料の39ページを御覧ください。事業名は、青谷上寺地遺跡地域学習環境整備補助金でございます。限度額が72万円、期間は令和6年度となっております。現在、青谷高等学校は、青谷上寺地遺跡の歴史資産を活用した新

たなカリキュラムを創設し、1年次～3年次に至るまでの継続的な学習環境を整えるなど、近隣他県にない、専門的な考古学を打ち出した学校の魅力づくりを行っています。こうした取組を進めています青谷高等学校に、青谷上寺地遺跡を活用した学習を履修するため、県外からの留学を希望し、鳥取市内に下宿・居住しながら通学する生徒に対して、生活費として、月額1万円補助し、考古学の人材育成、将来の地元就労や地域貢献など、青谷かみじち史跡公園整備に係るまちづくりを推進していきたいと考えております。なお、この事業につきましては、令和4年9月議会で、令和5年度の入学生3人分の債務負担行為の議決をいただいております、この令和5年度の当初予算でも、36万円の予算を計上しているところでございます。令和5年度に、3人の入学生があると想定いたしまして、令和6年度に、2年次生となりますこの生徒への補助制度の担保と、それから、令和6年度の入学生の募集に際して、制度の周知を図るために、債務負担行為を要求するものでございます。補助金の額といたしましては、令和5年度の入学生分が、1万円掛ける12か月掛ける3名で36万円、令和6年度の入学生分が、1万円掛ける12か月掛ける3人で36万円、合わせて72万円を要求させていただいております。

以上で、一般会計予算の説明を終わります。

◆砂田典男分科会長 本日の委員会では、この議案につきましては、説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 なお、質疑は、後半の3月14日に行います。

議案第7号令和5年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算（説明）

◆砂田典男分科会長 次に、議案第7号令和5年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算についての御説明を簡潔明瞭にお願いいたします。

○古網竜也生活環境課課長補佐 委員長。

◆砂田典男分科会長 古網補佐。

○古網竜也生活環境課課長補佐 生活環境課の古網です。墓苑事業費特別会計について説明いたします。資料、説明資料の40ページを御覧ください。

まず、歳入です。使用料及び手数料、使用料、墓地使用料につきまして、第二いなば墓苑第三期使用料は、前年度比316万1,000円増額の2,670万5,000円計上いたしました。これは、1平米当たり10万9,000円の墓地永代使用料につきまして、現在、注力しております広報活動の効果を勘案しまして、3平米のものを30区画、5平米のものを31区画の合計61区画と、令和4年度当初よりも、7区画を多く見込んでおります。

また、その下、その他墓地等使用料は、1体10万円の合葬式の使用料や、円護寺墓地、末恒墓苑などの再募集に係る使用料につきまして、こちらも広報活動を勘案しまして、前年度比42万円増額の594万円の計上しております。

続きまして、歳出です。説明資料の41ページを御覧ください。墓苑費、第二いなば墓苑用地取得費は、前年度比268万7,000円増額し、2,270万円計上しました。これは、補正予算でも説明いたしましたが、第二いなば墓苑第3期整備等に伴う用地取得費や工事費等について、鳥取

市土地開発公社に対し、償還をするものであり、第二いなば墓苑第3期使用料の85%で計上しております。

その下、墓地管理費886万2,000円は、事業別概要286ページの上段となります。墓参者の安全管理及び墓参環境の改善を図るため、計画的な修繕費は200万円計上しております。樹木の伐採等、4か所の大型墓苑に配置しとる墓地管理人に係る経費等を計上しております。

また、いなば墓苑及び第二いなば墓苑への既存バス路線の廃止に伴い、参拝者の交通手段の確保を図るため、タクシー運行への補助金も計上しておるところでございます。説明は以上でございます。

◆砂田典男分科会長 本日の委員会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 はい。この件も、質疑は後半の3月14日に行います。

議案第13号令和5年度鳥取市電気事業費特別会計予算（説明）

◆砂田典男分科会長 次に、議案第13号令和5年度鳥取市電気事業費特別会計予算についての御説明を簡潔明瞭にお願いいたします。

○古網竜也生活環境課課長補佐 委員長。

◆砂田典男分科会長 古網補佐。

○古網竜也生活環境課課長補佐 はい。生活環境課の古網です。電気事業費特別会計について説明いたします。説明資料の42ページを御覧ください。

まず、歳入でございます。諸収入、収益事業収入、売電収入は、青谷町いかり原太陽光発電施設で発電した電気を、電気事業法による、電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法、いわゆるFIT法に基づきます、固定価格買取制度により、1キロワットアワー当たり、税込み44円で売電するものでございます。令和2年度、今年度2月で減額しておりますが、過去3年間、2年度・3年度・4年度の平均売電量から見込んで、2,790万5,000円計上いたしております。

続きまして、歳出でございます。説明資料の43ページを御覧ください。総務費、維持管理費、青谷町いかり原、青谷町いかり原維持管理費582万2,000円は、事業別概要296ページの下段となります。青谷町いかり原太陽光発電施設に係る適切な維持管理を、維持管理業務を行うため、保安管理業務及び警備、機械の警備業務、また、計画的な施設修繕等を行うものでございます。

その2つ下、公債費、元金、長期借入金元金償還金2,104万1,000円は、青谷町いかり原太陽光発電施設の整備におきまして、平成26年5月に借り入れました2億9,590万円につきまして、令和12年まで償還するものでございます。償還方法は、元利均等で、元金と利息を合わせた単年度の償還額は、2,238万3,602円となるものでございます。説明は以上でございます。

◆砂田典男分科会長 はい。本日の委員会では、この議案につきましては説明のみとなっておりますが、委員の皆様で、聞き取りにくかった点や字句の確認等はございますか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 はい。同じく質疑は、後半の3月14日に行います。

（「はい」と呼ぶ者あり）

◆砂田典男分科会長 それでは、予算審査特別委員会総務企画分科会を終了いたします。皆様、お疲れさまでした。

（ ） お疲れさまでした。

午後4時30分 閉会

令和5年2月定例会

総務企画委員会・予算審査特別委員会総務企画分科会

日時: 令和5年2月28日(火)

10:00~

場所: 本庁舎7階第1委員会室

企画推進部

..... 《 総務企画委員会 》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第19号 令和4年度鳥取市一般会計補正予算(第10号)【所管に属する部分】

◎議案【先議分以外：説明】

議案第55号 工事請負契約の変更について

..... 《 予算審査特別委員会 総務企画分科会 》

◎議案【予算審査分：説明】

議案第1号 令和5年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

市民生活部

..... 《 総務企画委員会 》

◎議案【先議分：説明・質疑・討論・採決】

議案第19号 令和4年度鳥取市一般会計補正予算(第10号)【所管に属する部分】

議案第24号 令和4年度鳥取市墓苑事業費特別会計補正予算(第2号)

議案第30号 令和4年度鳥取市電気事業費特別会計補正予算(第2号)

↓ 次ページがあります ↓

◎議案【先議分以外：説明】

議案第 48 号 鳥取市の特定の事務を取り扱う郵便局の指定の取消しについて

議案第 50 号 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について

議案第 51 号 鳥取市過疎地域持続的発展計画の変更について

議案第 53 号 財産の無償貸付けについて

◎報告

地域振興会議のあり方について（地域振興課）

地区公民館の幅広い活用に向けた検討について（協働推進課）

第 11 次鳥取市交通安全計画の策定について（協働推進課）

除雪機の事故について（協働推進課）

第 4 期湖山池水質管理計画（案）について（生活環境課）

旧鹿野幼稚園の無償譲渡等について（鹿野町総合支所）

—・—・—・—・—・—・ 《 予算審査特別委員会 総務企画分科会 》 —・—・—・—・—・—・

◎議案【予算審査分：説明】

議案第 1 号 令和 5 年度鳥取市一般会計予算【所管に属する部分】

議案第 7 号 令和 5 年度鳥取市墓苑事業費特別会計予算

議案第 13 号 令和 5 年度鳥取市電気事業費特別会計予算